

## 1 学校で設定した「令和2年度の目標」及び関係する「評価項目」について

- (1) 日光御成道チャレンジ強歩の実施
- (2) 『学校元気アッププロジェクト』の取組
- (3) 確かな学力の向上：暗唱の取組、基礎学力向上のための「はかせタイム」「のびのびタイム」の実施  
学校課題研修の充実、ICTを活用した授業公開の実施
- (4) 心を潤す4つの言葉の推進：あいさつ運動の実施
- (5) いじめの早期発見・早期対応：心の教育推進委員会、SC、SSW等、関係機関との連携
- (6) 学校の働き方改革の見直し：定時退勤日の実施、教職員の月平均時間外在校時間45時間以内

## 2 評価結果について

- (1) 【成果】「日光御成道チャレンジ強歩～見沼コース～」は、保護者、地域の方174名に参加いただき、参加した児童全員が歩き抜くことができた。  
【課題】今年度の成果を生かし、コースの安全確認及び保護者、地域との連携を引き続き行っていく。
- (2) 【成果】各教職員が自身の得意分野を生かし、「学校に行きたい」と思える教育活動を実践することができた。  
【課題】全教職員が『学校元気アッププロジェクト』に取り組んだが、取組内容によっては進捗状況等を確認することが難しいこともあったため、掲示物等の工夫がさらにできるように指導助言をする必要がある。
- (3) 【成果】日課表を工夫し、朝と昼に短時間学習の時間を設け、基礎学力向上を図る学習（漢字、計算等）を実施することができた。また、ICTを活用した授業では「プログラミング学習」や「ミライシード」を積極的に活用した授業を公開した教職員がいた。普通の授業においてもタブレットを積極的に活用しようとする教職員の姿が見られるようになった。特に暗唱については1年間を通して全校で取り組むことができ、月平均400人の検定及び達成賞においても65%（12月末現在）出すことができた。  
【課題】「はかせタイム」では学年で共通の学習を行う等、計画的な学習をしていくようにする。ICTの一層の活用などを通して児童一人ひとりが達成感、成就感をもつことができる授業をしていく必要がある。
- (4) 【成果】87%の児童が「あいさつを進んで行っている」に回答し、校舎内ではあいさつができる児童が多い。  
【課題】あいさつについて「進んで行っている」と回答した保護者は8割、教職員は6割であり、解離が見られる。教職員が範を見せ、特に登校、下校中等、学校外において気持ちのよいあいさつができるようにしていく。また、「自分から」あいさつができるよう、あいさつ運動等の取組を工夫していく。
- (5) 【成果】いじめ認知は7件（うち1件は昨年度から継続）であり、担任、学年を中心に組織的な対応に努めた。また、SC、SSW等と連携を図り、家庭訪問、面談、行動観察など組織的に行うことができた。必要に応じて児童相談所、区福祉課とも情報を共有し対応することができた。  
【課題】「その日にあったことはその日のうちに」共通理解のもと対応してきたが、金曜日や祝日前の下校後にトラブルが発覚する等があった。学年で「報告・連絡・相談・見届け」を行うとともに、教職員一人ひとりがどのように解決をしていくか、見通しをもって対応できるようにしていく。
- (6) 【成果】毎週水曜日をノー残業デーとして徹底し、全教職員が定時に帰ることができるようにした。また、学期末等は見通しをもって業務に取り組むことができるよう、早目に予定を示し、教務主任、教頭が声を掛け、仕事の優先順位を明確にすることができるようにした。  
【課題】毎月の時間外在校時間が45時間を超える教職員が数名いる。仕事の効率化ができるよう、指導をしていく。

## 3 次年度に向けた具体的な改善策について

- (1) 「さいたまSDGs教育」の研究指定校委嘱2年目となる。学校の特色を生かした「日光御成道チャレンジ強歩」をはじめとする教育活動の実践及び教職員一人ひとりのよさを生かす『学校元気アッププロジェクト』を引き続き実践していく。
- (2) よい授業のアンケート結果等を分析し、課題克服と強みを生かすため、教職員が自身の授業を公開する機会を多くするとともに、ICTを積極的に活用した授業実践を行っていく。暗唱については内容を見直し、日本語の美しさ、言葉の楽しさを感じることが出来る取組としていく。
- (3) 教師自ら範を示し、「心を潤す4つの言葉」の継続的な指導をしていく。また、保護者・地域にもあいさつの推進を呼びかける。
- (4) 日々の観察・会話、保護者や地域からの情報を基にいじめを見逃さない。また、全校児童を全教職員で指導し、保護者や地域と連携して早期解決をする。児童のよさを具体的に認めて自信をもたせ、自己肯定感を高める。よい点は保護者に伝え、長所を伸ばす指導を協力して行うとともに、伝えるべきことがある際は、迅速に保護者との連絡をとるようにする。
- (5) 校務分掌等の見直し、会議、行事の精選等を積極的に行っていく。